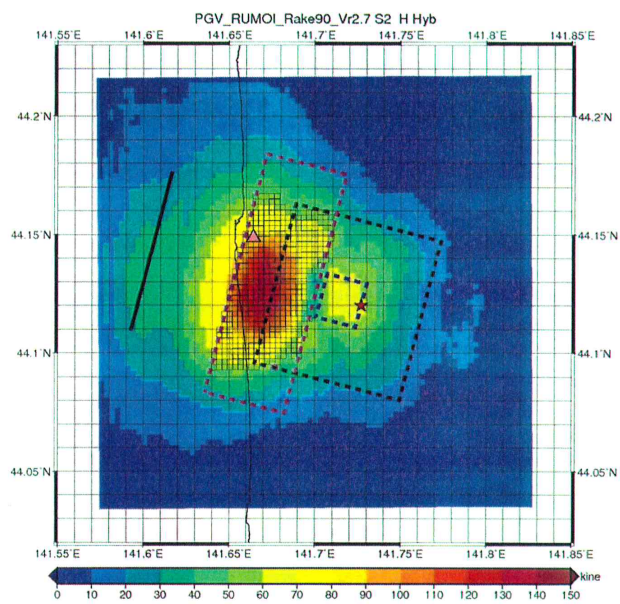


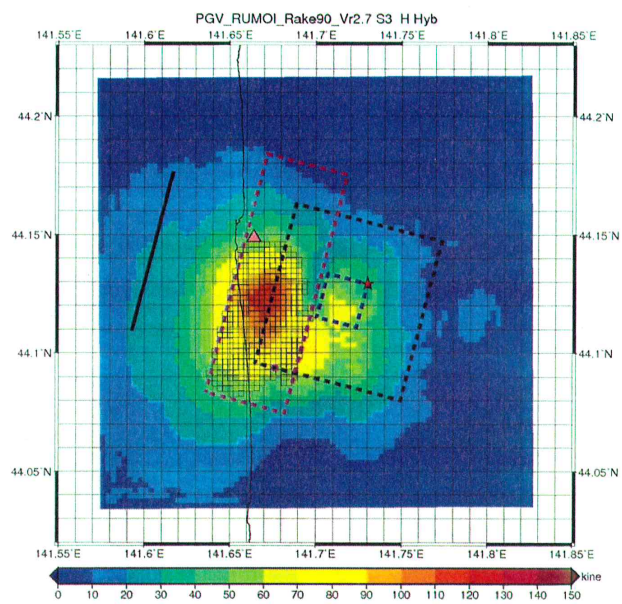
S1 破壊

図 2.4-6(1) 破壊開始点の違いによる PGV 分布
 赤破線枠内：大野・他(1998)の NFRD 効果を含む領域
 斜線部分：司・翠川(1999)の距離減衰式 (図 2.4-4(1)参照) の $+2\sigma$ を超える地点



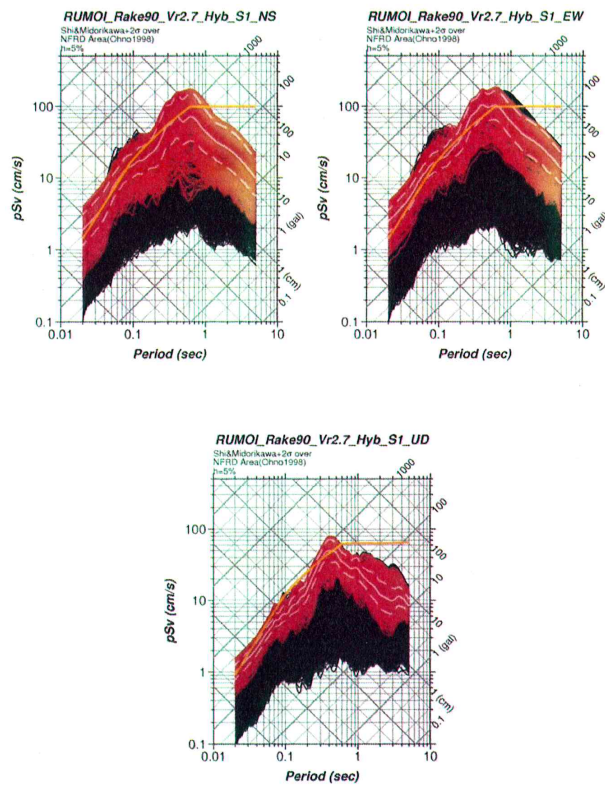
S2 破壊

図 2.4-6(2) 破壊開始点の違いによる PGV 分布
 赤破線枠内：大野・他(1998)の NFRD 効果を含む領域
 斜線部分：司・翠川(1999)の距離減衰式(図 2.4-4(2)参照)の $+2\sigma$ を超える地点



S3 破壊

図 2.4-6(3) 破壊開始点の違いによる PGV 分布
 赤破線枠内：大野・他(1998)の NFRD 効果を含む領域
 斜線部分：司・翠川(1999)の距離減衰式(図 2.4-4(3)参照)の $+2\sigma$ を超える地点

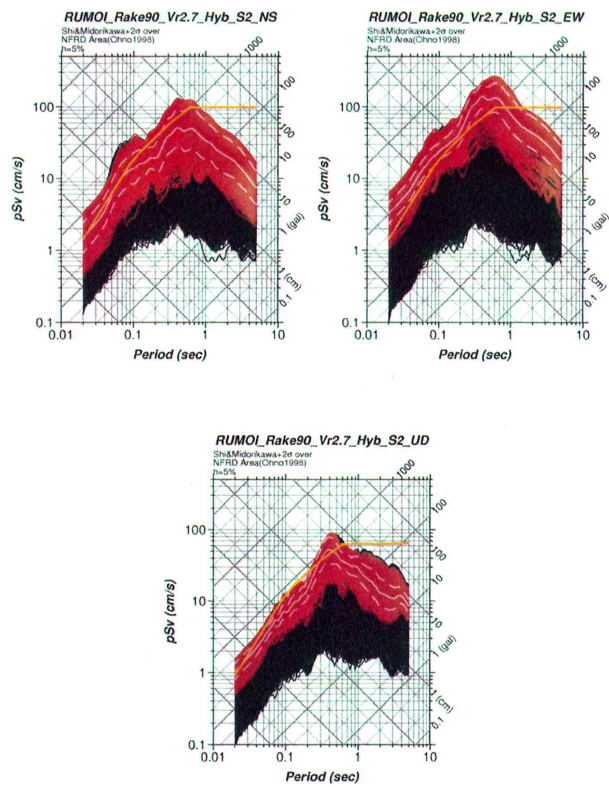


(1) S1 破壊

図 2.4-7(1) 破壊開始点の違いによる PSV (左上から NS, EW, UD)

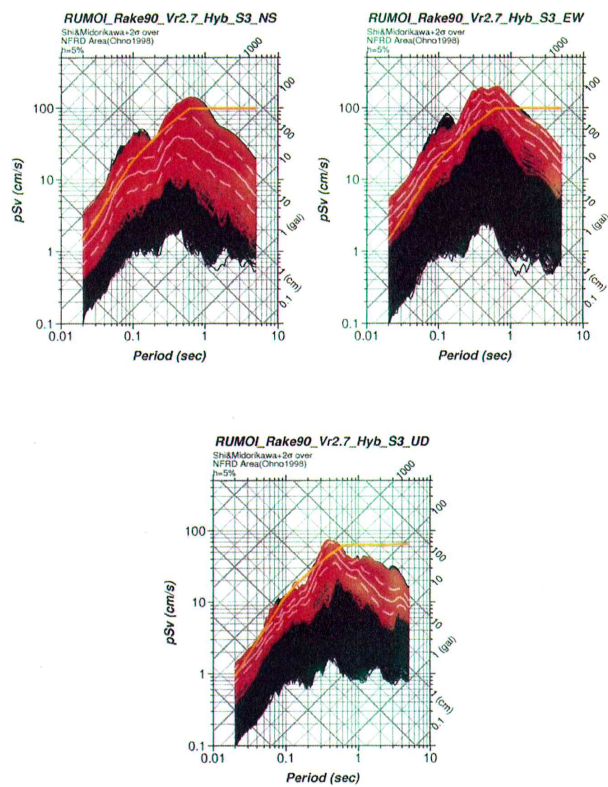
赤実線：大野・他(1998)の NFRD 効果を含む領域内で、司・翠川(1999)の PGV 距離減衰式
 に対して+2 σ の PGV を示す領域の PSV

白実線：上記領域内の平均 PSV、白破線：上記領域内の平均 PSV の標準偏差



(2) S2 破壊

図 2.4-7(2) 破壊開始点の違いによる PSV (左上から NS, EW, UD)
 赤実線：大野・他(1998)の NFRD 効果を含む領域内で、司・翠川(1999)の PGV 距離減衰式
 に対して $+2\sigma$ の PGV を示す領域の PSV
 白実線：上記領域内の平均 PSV、白破線：上記領域内の平均 PSV の標準偏差



(3) S3 破壊

図 2.4-7(3) 破壊開始点の違いによる PSV (左上から NS, EW, UD)
 赤実線：大野・他(1998)の NFRD 効果を含む領域内で、司・翠川(1999)の PGV 距離減衰式
 に対して $+2\sigma$ の PGV を示す領域の PSV
 白実線：上記領域内の平均 PSV、白破線：上記領域内の平均 PSV の標準偏差

参考文献

- Boore(1983), D. M., Stochastic simulation of high-frequency ground motions based on seismological models of the radiation spectra, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **73**, 1865-1894.
- Graves, R. W.(1996), Simulating Seismic Wave Propagation in 3D Elastic Media Using Staggered-Grid Finite Differences, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **86**, pp.1091-1106.
- 釜江克宏・入倉孝次郎・福知保長(1990), 地域的な震源スケーリング則を用いた大地震(M7級)のための設計用地震動予測, 日本建築学会構造系論文報告集, 416, pp.57-70.
- 加藤研一・宮腰勝義・武村雅之・井上大榮・上田圭一・壇一男(2004), 震源を事前に特定できない内陸地殻内地震による地震動レベル—地学的調査による地震の分類と強震動記録に基づく上限レベルの検討—, 日本地震工学会論文, 第4巻, 46-86.
- Maeda. T. and T. Sasatani(2009), Strong ground motions from an Mj 6.1 inland crustal earthquake in Hokkaido, Japan: the 2004 Rumoi earthquake, *Earth Planets Space*, **61**, 689-701.
- 大野晋・武村雅之・小林義尚(1998), 観測記録から求めた震源近傍における強震動の方向性, 第10回日本地震工学シンポジウム, 133-138.
- Pitarka, A.(1999), 3D elastic finite-difference modeling of seismic motion using staggered-grid with non-uniform spacing, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **89**, pp.54-68.
- 司 宏俊・翠川三郎(1999), 断層タイプ及び地盤条件を考慮した最大加速度・最大速度の距離減衰式, 日本建築学会構造系論文集, 523, 63-70.